

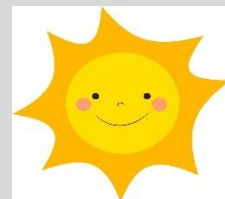
2023年度（一財）再エネ協同基金

助成制度のご案内

再エネ協同基金は再エネふれんずのエコを応援！

再生可能エネルギーや省エネルギー機器の導入費用の一部を助成します。

（国や県の補助金と併用できます）



助成制度概要 助成対象者・条件・応募方法

■ 制度の概要

- 1.当財団が指定する再生可能エネルギー利活用機器や省エネルギー機器（以下、対象機器と表記）を導入する賛助会員（以下再エネふれんず）に対して、導入費用の一部を助成します。また、再生可能エネルギー発電事業、地球温暖化につながる温室効果ガス削減に貢献する活動に対して助成します。
- 2.助成は原則、同一年度に1世帯、1団体につき1機種、1台、1回限りです。（一部例外有り）

■ 助成対象者

下記1～4に該当し、対象機器を承認日以降に設置する場合

- 1.再エネふれんずである方。或いはならコープでんき契約者で1%寄付オプションを選択された方。
- 2.自ら居住する住宅(店舗兼住宅含む)又は自ら所有する自らの事業用に供する建築物に対象機器を設置する方。
- 3.電力会社と10kW未満の太陽光発電設備の電力需給契約を締結する方（太陽光発電設備の助成を受ける時のみ）
- 4.「奈良の環境家計簿」に（下記URL又は右記二次元コードより）登録し、かつ「再エネ協同基金」のグループにも登録（合言葉「再エネふれんず」）して、毎月のエネルギー使用量を入力できる方。 <https://naraeco.jp/kakeibo/>
※インターネット環境のない方については都度、環境家計簿記録用紙にて記録し、当財団まで郵送またはFAXにて送付。



■ 助成を受けることができる条件

- 1.助成申請書を提出し、承認日以降に対象機器の設置工事をする事。
- 2.設置工事を伴わない機器の場合は、承認日以降に機器を購入すること。
- 3.助成金請求書提出期限までに必要書類を添付して提出すること。

■ 募集方法

- 1.助成申請書にて応募ください。
（下記ホームページよりダウンロードしていただくか、お電話かメールにてお問い合わせください。
<https://www.naracoop.or.jp/saiene/>






※ 助成は、再エネふれんずの方が対象です。

再エネふれんずに未登録の方は、右記二次元コードをスキャンし、必要事項を入力の上、年会費 個人会員（一口千円以上）、法人会員（10口以上 ただし非営利活動法人は1口以上）をお振込みください。ご入金を確認でき次第、申請書を受け付けます。

- 2.募集期間は各予算額に到達するまでとなり、助成は先着順に決定します。

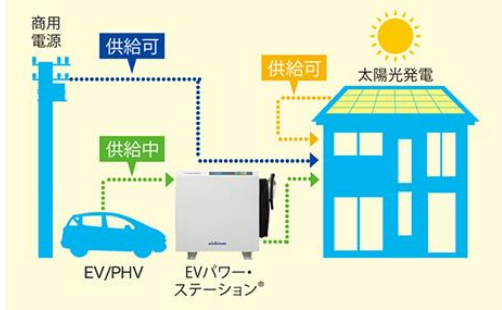
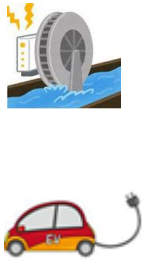



助成制度の対象機器要件・助成金額

助成項目	機器要件	助成金額	助成総額 3,440,000円
1_太陽熱利活用 太陽熱温水器の導入	太陽熱を集めて利用する太陽熱温水器または不凍液等を強制循環する太陽熱集熱器と蓄熱槽から構成され、給湯や空調に利用するソーラーシステムまたはこれに類するシステムであること。かつ（一財）ベターリビングの優良住宅部品の太陽熱利用システムの認定を受けた設備であること。	40,000円	120,000円 
2_木質資源利活用 薪ストーブの導入・ペレットストーブの導入	薪、或いは木質ペレットを燃料として使用する設計及び仕様の暖房機（ペレットボイラーを含む）※本体価格が10万円以上のものに限る。	40,000円	120,000円
3_太陽光・省エネルギー活用 ①太陽光(自家消費)発電設備の導入 ¹ ②蓄電池の導入 ※①②の発電量は小数点第二位以下四捨五入 ③おひさまエコキュート導入 ④断熱リフォーム 断熱窓・断熱材 ⑤冷蔵庫・エアコン買替 ² ⑥節水型トイレの導入	①低圧配電線と逆潮流有りで連携すること。発電出力1.5kW以上10kW未満であること。 (10,000円/kW) ②-1住宅用太陽光発電システムと接続する住宅用定置型リチウムイオン蓄電池であること。 (10,000円/kWh) ②-2ポータブルバッテリー（1kWh以上） ③太陽光発電との連携を前提とするエコキュートの導入 ④-1窓の改修において、複層ガラスへの交換、内窓の設置を行う工事であること。 (2.8㎡以上の窓、一ヶ所10,000円 それ以下の窓は一ヶ所5,000円) ④-2断熱材を用いた外断熱、或いは内断熱改修工事であること。 ⑤2022年度版省エネ性能カタログで★4つ以上のもの（或いは使用電力量が現在使用中のもの1/2以下のもの）に買い替え、家電リサイクル料金支払確認ができる事 ⑥節水型トイレ（洗浄水量5L以下のもの）	①上限 40,000円 ②-1上限 40,000円 ②-2 一台 10,000円 ③30,000円 ④-1上限 40,000円 ④-2工事費の 1/10（上限 40,000円） ⑤ 1台につき 5,000円 ⑥1台につき 10,000円	1,900,000円   100,000円 
4_化石燃料からの移行	電動アシスト付き自転車でTSマークを取得しているもの、又は電動バイクの購入	1台につき 10,000円	100,000円 

¹ 3_①太陽光(自家消費)発電設備の導入と3_②蓄電池の導入、更に5_②EV購入と5_③V2H導入は同時に助成可能

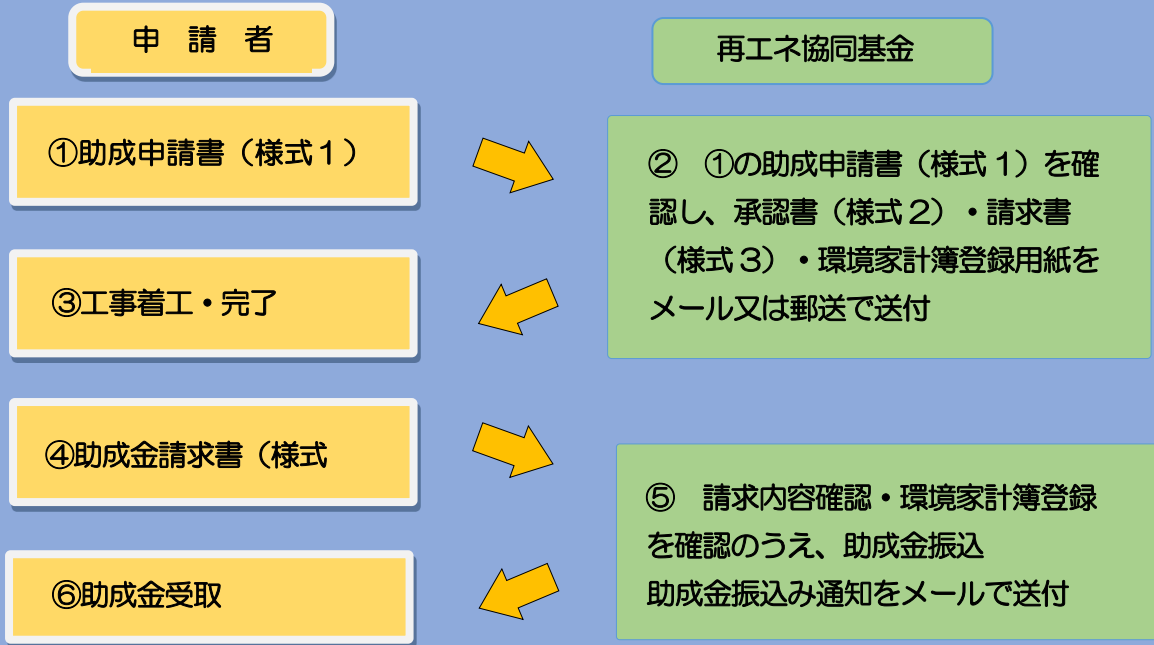
² 3_④冷蔵庫、エアコンの買換、3_⑤節水型トイレ、4_化石燃料からの移行は他の助成と併用申請可

助成項目	機器要件	助成金額	助成総額
5_電力自給システム ※V2HとはVehicle to Homeの略で 電気自動車を蓄電池のように運用することが可能となるシステムのことです。	①水力・風力・木質資源による小型発電機導入、または家庭用燃料電池（エネファーム）の導入費用（人件費を除く）の1/5。 ②EVの購入 ③V2Hの導入 	①上限 50,000円 ②車両価格の1/10（上限50,000円） ③50,000円	900,000円 
6_調査・研究活動・学習活動	調査・研究活動・学習活動において地球温暖化防止につながる温室効果ガス削減に貢献する活動。活動費用（人件費を除く）を助成。	上限 50,000円	200,000円 

イラスト：
ニチコン株式会社ホームページより引用

再エネ協同基金助成制度 手続きの流れ

- 1.助成申込み
- ・助成申請書をメール、郵便またはFAXで送付ください。
 - ・助成申請書を確認しだい、「承認書」と「助成金請求書」「環境家計簿登録用紙」をメールまたは郵送にてお送りします。（メールで申請される場合、パソコンメールを受け取ることが出来るアドレスでお願いします。）
- 2.申込から助成金受取までの流れ



□ 計画を変更する場合や中止する場合は当財団までお電話にて御連絡ください。着工後に助成対象機器の変更や助成金の増額はできません。

《助成金交付請求書一覧》

	書 類	入 手 先	期 限 等
申 込	助成申請書	ホームページ または財団まで請求	2024年 1月31日（水）
請 求	助成金請求書	承認書と一緒に送付	2024年 3月15日（金） 必着
	助成対象設備に関わる領収書の写し	工事業者	
	設置状態、型番を確認できるカラー写真	申請者	
	保証書写し	申請者	
	住民票（ならコープの配達をご利用中の方、ならコープでんき契約者は不要）	各市町村	
	奈良の環境家計簿登録時のニックネーム	奈良の環境家計簿のサイト	
	冷蔵庫、エアコン買替は、省エネ性能カタログ★4つ以上か前機種 of 電気使用量が分かる書類、家電リサイクル券の写し	申請者	

*調査・研究活動・学習活動については申込・請求に必要な資料が内容により異なります。申請時にお問合せください。

～私たちも応援しています～

明日の的野を創ろう会、ANDCOCO 株式会社、（一社）地域未来エネルギー奈良、エネサーブ株式会社、カジノン株式会社、おひさまエナジーステーション株式会社、株式会社関西丸和ロジスティクス株式会社、株式会社コープエナジーなら、株式会社 CWS、株式会社 G&ECO、株式会社奈良コープ産業株式会社、南都銀行、株式会社ハートフルコープなら、株式会社ハートフルコープよしの、市民生活協同組合ならコープ、社会福祉法人 協同福祉会、大和エネルギー株式会社、特定非営利活動法人 おひさまひろば特定非営利活動法人 うだ夢創の里、特定非営利活動法人 かかしの家、特定非営利活動法人 サークルおてんとさん、奈良日産自動車株式会社、特定非営利活動法人 奈良ストップ温暖化の会、奈良中央三菱自動車販売株式会社、奈良県生活協同組合連合会、認定特定非営利活動法人 きららの木、東吉野水力発電株式会社、備前グリーンエネルギー株式会社

【送付先およびお問い合わせ先】

一般財団法人 再エネ協同基金
〒630-8503 奈良県奈良市恋の窪1丁目2番2号
TEL：0742-33-9528 FAX：0742-34-8060
ホームページ：<http://www.naracoop.or.jp/saiene/>

